

安全性から考えるMIGSの早期介入 ～iStentが示す視野を守る治療の考え方～

日時 2026年
5月17日 15:25
16:15

場所 第1会場
東京慈恵会医科大学
大学1号館3階講堂

座長/演者 **新田 耕治先生** (福井県済生会病院)

本セミナーではMIGSが一般的な選択肢となった今、より早期に手術介入を検討するうえで何が重要かを安全性の観点から改めて考えます。有効性はもちろん、その前提として安全性が十分に担保されてこそ早期介入の意義が生まれます。iStentの長期成績、他術式との比較、実臨床での使い分けを通じて視野を守るための治療戦略を皆様と共有できれば幸いです。



新田 耕治先生
(福井県済生会病院)

長期成績から考える
iStentの意義と位置づけ

演者



野本 裕貴先生
(近畿大学)

大学病院におけるMIGS術式
の使い分けとiStentの意義



庄司 拓平先生
(小江戸眼科内科/埼玉医大)

MIGS選択におけるiStentの
安全性と意義



第15回日本視野画像学会学術集会への参加には、
参加登録が必要です。

◀参加登録はこちら

共催 | 第15回日本視野画像学会学術集会
ブラウコス・ジャパン合同会社